

プレスリリース

2010.08.20

＜ご参考情報＞ ウォルマート2011会計年度第2四半期の業績を公表

1株あたり純利益0.97ドルでファースト・コールのコンセンサス予想を超過 通期の1株あたり純利益予想を上方修正

以下は、ウォルマート・ストアーズ・インクが2010年8月17日（現地時間）に米国アーカンソー州ベントンビルにて発表した英文プレスリリースの抄訳です。

ハイライト：

第2四半期の1株あたり希薄化後純利益は0.97ドル、ファースト・コールによるコンセンサス予想である0.96ドルを超過し、同社の見込み0.93ドル-0.98ドルの範囲内。

通期の1株当たり純利益予想を、当初の3.90ドル-4.00ドルの範囲から、3.95ドル-4.05ドルに上方修正 当期の連結営業利益は、60億ドルを超え、前年同期から4.4%の増益。

当期の売上高は1,030億ドルと、前年同期から2.8%の増加

国際部門は引き続き成長を維持。メキシコ・ブラジル・中国の好調な業績が大きく寄与し、売上高は260億ドルと11.0%の増加。

全社において、3四半期連続して経費削減効果が奏功。

米国ウォルマート部門の第2四半期の13週間の既存店売上高は1.8%の減少。サムズ・クラブ部門の既存店売上高は、ガソリン販売を除き1.0%の増加。

2010年7月31日までの直近12か月の投資収益率（ROI）は、堅調な業績が寄与し、前年同期の18.4%から19.0%に上昇。

当会計年度上期は、配当金支払と自社株買いによって、94億ドルを株主に還元。同社は、当期の自社株買いに41億ドルを支出。

当期は、同社が店舗を運営する15カ国において、総売場面積で約500万平方フィートを増床。現在の全世界の総店舗数は8,576店舗。業績内容の詳細については、ウォルマートウェブサイト内の投資家向け情報のセクションでご確認ください。

(www.walmartstores.com/investors)

以上